

腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法マネージメント



講師：荒木 秀明

日本臨床徒手医学協会 (iMMSJ) 代表理事

2016年7月17・18日

お申込み：6月30日まで

定員になり次第〆切します

info_immsj@yahoo.co.jp

セミナー概要

開催日	平成28年7月17日(日曜) 14:00~18:00 (13:30 受付開始) 平成28年7月18日(月曜) 9:00~15:00
開催場所	九州中央リハビリテーション学院
講師	荒木秀明 (日本臨床徒手医学協会代表理事)
内容 (講義)	<ul style="list-style-type: none">腰部脊柱管狭窄症の疫学と画像診断腰部脊柱管狭窄症のシステムティックレビュー ：薬物療法・保存療法・手術療法腰部脊柱管狭窄症の診断サポートツールの紹介 ：間欠性跛行の神経性と血管性の鑑別を中心に腰部脊柱管狭窄症の physical therapy management 概略
内容 (実技)	<ul style="list-style-type: none">Modic 分類から診る腰椎 mobilization の実際Physical Therapy Management ：日常生活指導の実際 ：胸椎・股関節・足関節 mobilization の実際 ：筋力トレーニングの実際 ：効果的有酸素運動の実際
定員	40名程度
受講料	iMMSJ 会員：30,000 円 会員外：50,000 円
その他	筆記用具持参、動きやすい服装 (ジーパン、スカート不可)
申し込み方法	ホームページ(http://www.immsj-seminar.info/)から必要事項を記載の上、お申込み下さい

【腰部脊柱管狭窄症を科学します】

65歳以上では腰痛の有病率が50%まで増加することが報告され、人口統計学から欧米では高齢者の脊柱のマネージメントに習熟した理学療法士が注目されています。高齢者の脊柱疾患の代表的腰部脊柱管狭窄症に対しての画像診断、スクリーニング、サポートツールを用いての確定診断、治療、筋カトレーニングを含めた最新情報をお届けします。

今、世界ではどのような評価、治療が行われているのか？画像では狭窄しているが間欠性跛行は神経性なの血管性なのか？投薬は？手術は？これらの疑問に最新のシステムティックレビューを元に詳しく解説します。実技では実際に臨床で使えるよう細かなチェックポイントまでお伝えします。